

**若年層に対する献血推進の方策とその効果に関する研究
pilot 地区を対象とした若年者への献血推進方策のモデル事業**

研究代表者 田中 純子^{1,2)}

研究分担者 秋田 智之^{2,3)}

研究協力者 杉山 文^{2,3)}、高砂優羽^{4,5)}、小林正夫⁶⁾

- 1) 広島大学 医療政策室
- 2) 広島大学 疫学&データ解析新領域プロジェクト研究センター
- 3) 大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学
- 4) 広島大学医学部医学科
- 5) 広島大学献血推進サークル Kasumi-Bloodonors
- 6) 日本赤十字社 中四国ブロック血液センター

研究要旨

広島大学献血推進サークル Kasumi-Bloodonors は、2019 年 11 月に医療系キャンパスである霞キャンパスを拠点として設立された。当研究班は同サークルの設立を支援してきた。部員数は年々増加しており、2025 年現在では 48 人に達している。広島県赤十字血液センターの協力のもと、春季（4 月）および冬季（12 月）の年 2 回にわたり献血バスを誘致し、広島大学霞キャンパスにおける学内献血を支援するとともに、県内各地で開催される献血推進イベントへのボランティア参加も実施している。本稿では、当研究班が今年度を実施した同サークルへの支援活動について報告する。

1. 2025 年度、研究班は Kasumi-Bloodonors の活動支援の一環としてセミナーを開催した。本セミナーでは、献血者の動向および献血需給予測に関するこれまでの研究成果をサークルメンバーに紹介し、献血制度全体に対する理解の深化と視野の拡大を図った。
2. 広島大学におけるバス献血申込者数の経年推移（2015～2025 年）および Kasumi-Bloodonors が実施した学内献血協力者アンケート（2021～2025 年、5 年分）の結果を集計・解析することにより、サークル活動の影響の可視化を試みた。

その結果、以下の知見が得られた。

(ア) 広島大学におけるバス献血申込者数の経年推移（2015～2025 年）を検討したところ、Kasumi-Bloodonors による献血推進活動の開始後、霞キャンパスにおけるバス献血申込者数は COVID-19 流行による一時的な減少を経たものの、その後は増加傾向を示した。一方、対照として設定した東広島キャンパスでは同様の増加は認められず、Kasumi-Bloodonors の活動による効果が示唆された。

(イ) Kasumi-Bloodonors が実施した学内献血協力者アンケート（2021～2025 年）の延べ回答者数は 453 人であった（2021 年：12 人、2022 年：97 人、2023 年：205 人、2024 年：102 人、2025 年：31 人）。回答者の約 3 割が 10 代、約 5 割が 20 代を占め、全体の 4～5 割が初回献血者であった。全国の 16～29 歳献血者に占める初回献血者の割合が 24.3%^(※)であることと比較すると、当該大学における学内献血は若年層の初回献血の機会として機能している可能性が示唆された。さらに、献血のきっかけとして献血推進サークルによる呼びかけや情報発信を挙げた回答者の割合は毎回 6～8 割に達しており、学生主体の献血推進活動が学内献血の効果をより一層高め得ることが示唆された。

以上の結果から、学生主体の献血推進活動が若年層における献血推進において重要な役割を果たすことが確認された。当研究班は引き続き同サークルへの支援活動を継続していく予定である。

(※) 日本赤十字社 血液事業の現状 令和6年度統計表 https://www.jrc.or.jp/donation/pdf/R6_ketsuekijigyonogenjyo.pdf

A. 研究目的

広島大学献血推進サークル Kasumi-Bloodonors は、2019 年 11 月に医療系キャンパスである霞キャンパスを拠点として設立された。当研究班は同サークルの設立を支援してきた。部員数は年々増加しており、2025 年現在では 48 人に達している。広島県赤十字血液センターの協力のもと、春季（4 月）および冬季（12 月）の年 2 回にわたり献血バスを誘致し、広島大学霞キャンパスにおける学内献血を支援するとともに、県内各地で開催される献血推進イベントへのボランティア参加も実施している。本稿では、当研究班が今年度実施した同サークルへの支援活動について報告する。

B. 研究方法

日赤中四国ブロック血液センターより提供された、広島大学におけるバス献血申込者数（2015～2025 年）および Kasumi-Bloodonors が実施した学内献血協力者アンケート（2021～2025 年、5 年分）の結果を集計・解析した。

C. 研究結果と考察

1. 2025 年度、研究班は Kasumi-Bloodonors の活動支援の一環としてセミナーを開催した。本セミナーでは、献血者の動向および献血需給予測に関するこれまでの研究成果をサークルメンバーに紹介し、献血制度全体に対する理解の深化と視野の拡大を図った。Kasumi-Bloodonors のメンバーに加え、県内他大学の「骨髄バンクを支援する会しずく」メンバーも参加し、献血の勧めかたに関するアイデアや課題などについてさまざまな意見が交わされた。



2. 広島大学におけるバス献血申込者数の経年推移（2015～2025 年）および Kasumi-Bloodonors が実施した学内献血協力者アンケート（2021～2025 年、5 年分）の結果を集計・解析することにより、サークル活動の影響の可視化を試みた。

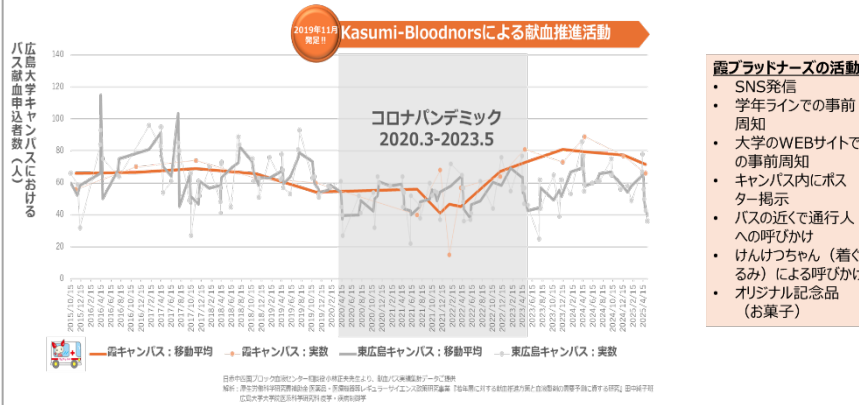
その結果、以下の知見が得られた。

- (ア) 広島大学におけるバス献血申込者数の経年推移（2015～2025 年）および Kasumi-Bloodonors が実施した学内献血協力者アンケート（2021～2025 年、5（2015～2025 年））を検討したところ、Kasumi-Blood Donors による献血推進活動の開始後、霞キャンパスにおけるバス献血申込者数は COVID-19 流行による一時的な減少を経たものの、その後は増加傾向を示した。一方、対照として設定した東広島キャンパスでは同様の増加は認められず、Kasumi-Blood Donors の活動による効果が示唆された。
- (イ) Kasumi-Bloodonors が実施した学内献血協力者アンケート（2021～2025 年）の延べ回答者数は 453 人であった（2021 年：12 人、2022 年：97 人、2023 年：205 人、2024 年：102 人、2025 年：31 人）。回答者の約 3 割が 10 代、約 5 割が 20 代を占め、全体の 4～5 割が初回献血者であった。全国の 16～29 歳献血者に占める初回献血者の割合が 24.3% ^(※) であることと比較すると、当該大学における学内献血は若年層の初回献血の機会として機能している可能性が示唆された。さらに、献血のきっかけとして献血推進サークルによる呼びかけや情報発信を挙げた回答者の割合は毎回 6～8 割に達しており、学生主体の献血推進活動が学内献血の効果をより一層高め得ることが示唆された。

(※) 日本赤十字社 血液事業の現状 令和6年度統計表 https://www.jrc.or.jp/donation/pdf/R6_ketsuekijigyonogenjyo.pdf

広島大学キャンパスにおける献血バスでの献血者数推移 2015-2025

Kasumi-Bloodnorsの献血推進活動開始後、霞キャンパスにおけるバス献血申込者数はコロナ禍による一時的な減少を経たものの、その後は増加傾向が認められた。一方、対照として示した東広島キャンパスでは同様の増加は見られず、Kasumi-Bloodnorsの活動による効果が示唆される。

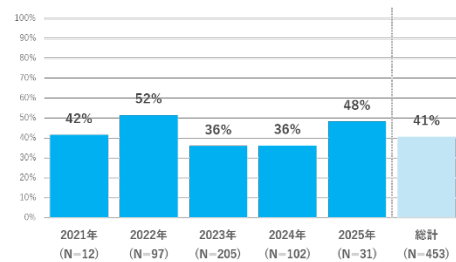


霞ブラッドナースの活動

- SNS発信
- 学年ラインでの事前周知
- 大学のWEBサイトで事前周知
- キャンパス内にポスター掲示
- バスの近くで通行人への呼びかけ
- けんけつちゃん(着ぐるみ)による呼びかけ
- オリジナル記念品(お菓子)

霞キャンパスでのバス献血協力者に対して Kasumi-Bloodnorsが実施した献血後アンケートの結果

霞キャンパスにおけるバス献血協力者のうち、初回献血者の割合



霞キャンパスにおけるバス献血協力者の4-5割は初回献血者

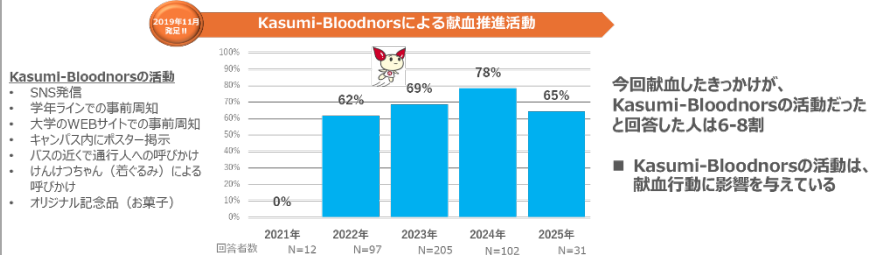
■ 心理的ハードルの高い初回献血の促進に貢献している

参考※)
R6年度全国16-29歳の献血者のうち、初回献血者が占める割合24.3%

■ 献血バス・バス、アンケートデータ提供
 提供：県立広島大学健康推進部(健康推進課) 広島県立大学健康推進部(健康推進課) データサイエンス活用推進課 「献血者に対する献血促進策と献血者の献血率向上に関する研究」 田中裕子
 広島大学健康推進部(健康推進課) 健康推進課

霞キャンパスでのバス献血協力者に対して Kasumi-Bloodnorsが実施した献血後アンケートの結果

霞キャンパスにおけるバス献血協力者のうち、Kasumi-Bloodnorsの活動が献血のきっかけであったと回答した割合



Kasumi-Bloodnorsの活動

- SNS発信
- 学年ラインでの事前周知
- 大学のWEBサイトで事前周知
- キャンパス内にポスター掲示
- バスの近くで通行人への呼びかけ
- けんけつちゃん(着ぐるみ)による呼びかけ
- オリジナル記念品(お菓子)

今回献血したきっかけが、Kasumi-Bloodnorsの活動だったと回答した人は6-8割

■ Kasumi-Bloodnorsの活動は、献血行動に影響を与えている

■ 献血バス・バス、アンケートデータ提供
 提供：県立広島大学健康推進部(健康推進課) 広島県立大学健康推進部(健康推進課) データサイエンス活用推進課 「献血者に対する献血促進策と献血者の献血率向上に関する研究」 田中裕子
 広島大学健康推進部(健康推進課) 健康推進課

